JFIK NPO法人 全国森林インストラクター 神奈川会

草木が茂り、生き物が蠢き、人が活動する。皆で守ろう、この地球！

会報　森人だより

NPO法人全国森林インストラクター神奈川会　https://www.jfik.org/

活動報告

■名瀬谷戸の会

１回目　定例活動

・日時：9 月 5 日（土）10:00～15:00

・参加者：合計 26 名　JFIK：6 名　地元・地域：9 名　ファミリー：5 名　横浜メダカの会：6 名

作業内容：●ゾーン 8 上の鉄塔周りの除伐、草刈り　●里山体験班：田んぼ周りの草刈り、網掛け、稲架（はさ）をタケで作成　●切り株の椅子とタケの長椅子を作成　●横浜メダカの会　池と周辺の除草、池の底に堆積した土の除去、水質調査、水生生物調査、除草した草の片付け

集合写真

２回目　定例活動

・日時：9 月 14 日（月）8:00～15:00

・参加者：合計 16 名　JFIK：9 名　地元・地域：7 名

・作業内容：●駐車場の除草　●竹チップの運搬、敷き均し　9:15～11:15 は、名瀬小 5 年 30 名も参加した　●小屋前草刈り及び切り株椅子づくり　●伐採竹のマーキング

竹チップの運搬　小学生も参加

３回目　定例活動

・日時：9 月 19 日（土）10:00～15:00

・参加者：合計 17 名　JFIK：3 名　地元・地域：8 名　ファミリー：6 名

・作業内容：●東電鉄塔周辺のササ刈り、草刈り　●里山体験班：モウソウチクの切り倒し、お椀や割りばしなどの食器を試作、イネと稲架の補修

鉄塔周辺の草刈り

４回目　定例活動

・日時：9 月 24 日（木）10:00～15:00

・参加者：合計 12 名

JFIK：5 名　地元・地域：7 名

・作業内容：●環境大臣賞受賞祝賀会の会場整備：作業道具小屋周辺の草刈り（刈払い機 4 台使用）、カマド回りの整理整頓　●竹チップの運搬　（福田　記）

刈払い機で草刈り

■室内勉強会「どんなものかな、海外トレッキング」（Zoom オンラインで実施）

日　時：9 月 11 日（金）19:30～21:00

講　師：浅井美香（R6）

参加者：　内間、大谷（雅）、角田、梶浦、河口、河野、佐野（仁）、篠田、菅原（あ）、鈴置、鈴木（康）、関、瀬尾、高梨、滝澤、竹山、辻、中澤（均）、仲田、羽田、日比野、松井、山本（明）、和田（昇）、嶺、佐藤（淳）　計 26 名

こどもの頃からの山歩きの経験や、海外トレッキングガイドとしての経歴を持たれる浅井さんのお話を通じて、地球の多様性や人間の存在の小ささを実感させるほどの圧倒的な大自然の姿が鮮明に浮かび上がってきました。

世界の多様な自然

スイスとイタリアの国境にそびえる「マッターホルン」、ニュージーランドの「ミルフォードトラック」、ヨーロッパの「ツールドモンブラン」、インドの「ザンスカール」、チベットの「聖山カイラス」、マレーシアの「キナバル山」、中国の「大姑娘」、そしてアフリカ最高峰の「キリマンジャロ」など、世界中の壮大なスケールの自然を歩いてこられました。

テーブルマウンテン

また、山頂が平らで周囲が切り立った崖になっている「テーブルマウンテン（卓状台地）」のエピソードからは、日本の山々とは全く違う圧倒的なスケール感を肌で感じることができました。その特異な地形は何億年もの歳月をかけた地殻変動や浸食によって作られたものであり、自然の持つ果てしないパワーが伝わってきます。そこで出会った植物や生き物のお話を通じて、地球には想像を超える多様な環境があるのだとワクワクさせられました。それと同時に、ガイドというお仕事は、単に美しい景色を見せるだけでなく、その土地の歴史や植生、そして「自然を愛する人々の交流」という目に見えない素敵な価値を伝える大切な役割なのだと気づかされました。

国境を越えた「人と人の交流」がくれるもの

さらに心に残ったのは、過酷な自然環境の中で生まれるあたたかい交流のお話でした。同じ目的を持って歩くトレッキングの仲間とは、言葉や文化の壁を越えて強い絆が生まれるそうです。現地の人々との触れ合いや、世界中から集まる他のトレッカーたちとの挨拶や情報交換には、普通の観光旅行では味わえない深い人間模様があります。

一歩一歩の歩みの中で、チベットの聖山カイラスでの巡礼の歴史や、各地の暮らしなど「現地の文化を学び、歴史を五感で感じる旅」の魅力も教えていただきました。厳しい大自然を一緒に歩む中では、たとえ国籍や言語が違っても、同じ景色を見て同じ風を感じることで、驚くほど一気に心の距離が縮まるのだそうです。自然という舞台が、人と人との心を繋ぐ魔法のようになっているのだと強く実感しました。

キリマンジャロにて

インバウンドガイドとしての現在の取り組みへの繋がり

こうした海外での原体験は、浅井さんの現在の国内インバウンドガイドのお仕事にそのまま活かされています。海外からのゲストを案内する際、世界の広大さを知っているからこその客観的な視点で「日本の山ならではの豊かな植物や美しさ」を伝えることができると思います。また、ご自身が海外で経験した「現地で温かく迎えられた感動」を、今度は日本のガイドとしてゲストに恩返しし、国境を越えた交流の場を日本の森の中で創り出されています。参加者への安全確認に対する丁寧な配慮からも、浅井さんの温かいお人柄が伝わってくる、胸が熱くなるお話でした。　（内間　記）

リレーエッセイ

ペンディング

R7 飯島 友

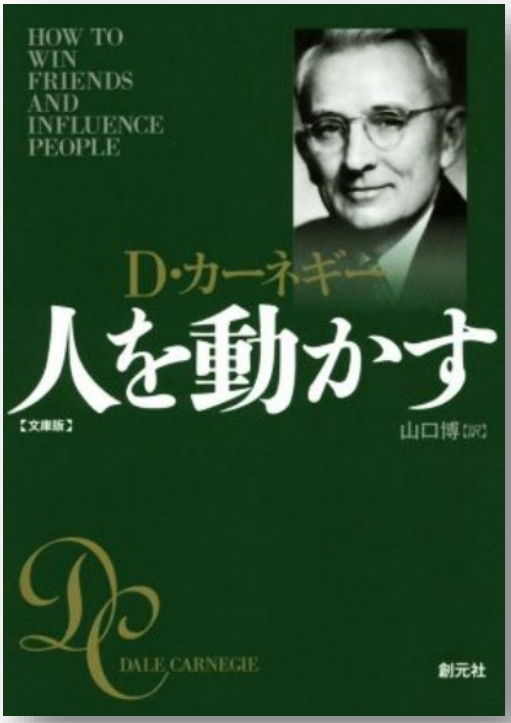
これ、なんだっけ。おぼえていたはずの木の名前、みたこともない昆虫、春にはどんな花が咲くか、実は食べられるか。これからどうなるんだろう。「スマホ」で検索するか。

使いやすさも精度も格段上がった検索ツールとしての「スマホ」で、即座に答えが得られるようになって久しい。ここにきて、今、わたしがひそかに頑張っているのがスマホ検索の「ペンディング」である。すぐに検索せず、自分のなかで疑問を保留にするのである。検索して安心したいところを、あえて宙ぶらりんにしておくことをそう呼んでいる。過熱する検索欲への、ささやかな抵抗のひとつを記しておく。

この春のこと。我が家は海のそばにある。嵐のような春先の雨から数日経っても磯のにおいがおさまらず、相当な量の漂着物が浜に打ち上がっていることが予想された。子といっしょに浜に出ると、案の定すさまじい量のそれが砂浜に広がっていた。枯れた枝葉や根、魚や貝、ペットボトルなどの人工物。この日、もっとも目を引いたのは、あちこちに散らばった大小様々なヒトデだった。子は黙々とヒトデのお星さまを拾い始め、あっというまに破れバケツをお星さまでいっぱいにした。うちに持って帰るのだと言う。そこでわたしは考える。これを庭にばら撒いて遊んだあと、ヒトデはこのあとどうなるのだろう。「ヒトデ　腐る」で検索するか。と、ここで「スマホ」に手を伸ばしそうになるところをひと呼吸。「ペンディング」した。どうなるのか、宙ぶらりんにしておく。遊ばれたヒトデは縁側の石段の上に放置された。かすかに腐敗臭をさせながら、予想に反して腐敗に群がりそうな生き物はまったく見られず、お星さまのまま静かに白骨化した。長かった梅雨が明け、夏になると骨はばらばらになり、お星さまではなくなった。秋雨前線がこれでもかと居座っている今、ヒトデは星砂のような白くて細かい砂利の山になってひっそりと雨に濡れている。この間、においはしたものの、動物も昆虫もまったくヒトデには寄り付かなかった。あまりにも不思議で、結局のところ「スマホ」で検索してみる。いわく、ヒトデは体内にサポニンを蓄えていて、腐敗するときに発する硫化水素やアンモニアの臭気と相まって獣や虫を寄せ付けない。ゆえにヒトデを忌避剤として利用するところもあるらしい。「スマホ」は既に知っていたが、わたしはいたく満足であった。

生き物を観察したたくさんの結果を普遍的な情報にすることを「スマホ」がやってくれるのなら、わたしは目の前をもっと気楽にあれこれ観察して、結論を急ぐ必要はないのだろう。これからも、焦って検索するよりも頑張って「ペンディング」するのだと心に決めているわたしは、そう、元来のあまのじゃくである。

月間ブックレビュー



書　名：人を動かす
著　者：D・カーネギー　(著)、山口 博　(翻訳)
出版社：創元社
発行日：2023 年 9 月 6 日
価　格：880 円（税込み）
感　想：ビジネスの名著としても有名であり世界でも 1,500 万部以上発行されているので読んだことがある方もいらっしゃると思います。部下が思うように動いてくれない、お客さんが文句を言ってくる、こどもがおもちゃを片づけないなど対人関係の悩みは誰もが抱えるところですが、森林インストラクターとしてもお客さんとどう接していいか悩む人は少なくないでしょう。人前で話したり、人と話すことに苦手意識を持っている方は、話すことが下手というより真面目で謙虚な性格が関連しているように思います。人と話す時、どう話せば良いか、何を話せば良いかといったことのヒントがこの本には沢山載っています。リンカーンやルーズベルトの実例、老子の教えなどをもとに現代でも通じる人間の心理を読み解く一冊です。相手の名前を呼んだり、命令をしない、小さなことでもほめるといったテクニックは森林インストラクターの活動でもきっと参考になるでしょう。　（橋本 武）

掲示板

9月度の会員異動
9月30日現在　　会員数172名

月例会が開催されました
日　時：9 月 25 日（金）　19:30～21:00
出席者：
　理事 12 名、監事 2 名、会員 4 名、合計 18 名

次回月例会
日　時：10 月 30 日（金）19:30～　ZOOM 開催

編集後記

温暖化によって異常気象が増えると会報の記事が減っていくようです。今号は 4 ページです。（はなわ）

発行者：NPO 法人全国森林インストラクター神奈川会（略称 JFIK）　発行人：中澤　均
編集人：塙　洋彰　　投稿用メールアドレス：editorial@jfik.org
事務局所在地：〒226-0026 横浜市緑区長津田町 3016-1-943　電話：(045) 985-3865　メール：info@jfik.org
事務局長：　中澤 均　：h-naka@k04.itscom.net
©NPO 法人全国森林インストラクター神奈川会　記事・写真等の無断転載を禁じます。